

(様式1)

(整理番号) 026	提案機関名 一般社団法人神奈川県畜産会
要望問題名 アニマルウェルフェアの観点から、開放鶏舎における強制換羽の経済調査	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等）】 県内養鶏経営において、アニマルウェルフェアを推進する課題として、強制換羽する場合としない場合の経済性がネックとなることから、強制換羽せず550日齢まで生産したロットと強制換羽をして650日齢まで生産したロットで、経済性を比較調査してもらいたい。	
解決希望年限	<input type="checkbox"/> ①1年以内 <input type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input type="checkbox"/> ①農業技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ②畜産技術センター <input type="checkbox"/> ③水産技術センター <input type="checkbox"/> ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	畜産技術センター	担当部所	企画指導部企画研究課
対応区分	<input type="checkbox"/> ①実施 <input type="checkbox"/> ②実施中 <input type="checkbox"/> ③継続検討 <input checked="" type="checkbox"/> ④実施済 <input type="checkbox"/> ⑤調査指導対応 <input type="checkbox"/> ⑥現地対応 <input type="checkbox"/> ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合) 養鶏経営におけるシミュレーション研究(平成19年度)		
対応の内容等	強制換羽は鶏にストレスを与え、ストレスを受けた鶏はサルモネラ菌の排菌を高め、接触感染を受けやすくなることが知られています。一方で長期間の生産性を維持するうえで重要な技術でもあります。そこで鶏のストレスを少なくしつつ、強制換羽に近い効果が得られる強制換羽誘導飼料が製品化されており、当所では上記試験課題で、強制換羽区、強制換羽誘導飼料区、ふすま区、大すう飼料区と対照区を比較した試験を実施しました。ご要望の日齢とは異なりますが、参考にして下さい。		
解決予定年限	<input type="checkbox"/> ①1年以内 <input type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④5～10年以内		
備考	鶏のサルモネラ感染に及ぼすストレスの影響(鶏病研究会 29巻3号 P136-141 1993年11月) サルモネラ感染防止マニュアル(一般社団法人日本養鶏協会ホームページ) 強制換羽誘導飼料の利用(千葉県畜産総合研究センター研究報告 第8号 P55-60 2008)		